

第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）に関するご意見の募集の結果について

結果概要

○意見募集期間 令和5年3月30日（火）から令和5年4月13日（木）まで

○意見提出者数 1名

○意見数 5件

	意見	町の考え方	対応
全般	1. パブリックコメントの周知について パブリックコメントの実施は、町のホームページに3月30日に掲載されたのみであり周知不足だと考える。3月17日付け「農振第635号」を自治会に回覧を依頼するくらいであれば、町の将来にとって重要である『「第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）」に関する意見の募集について』こそ、自治会に回覧依頼をすべきだと考える。 今回のパブリックコメントは広く町民から意見を求める気持ちが町にはあるのか疑問が残る。	パブリックコメントの実施については、町ホームページへの掲載に併せ、役場仁多庁舎（政策企画課）と横田庁舎（税務課）にて閲覧に供し、有線放送を3月30日から4月2日まで、CATVの文字放送を4月1日から7日まで行うことにより、町民の皆様へ周知を図ったところです。 ご意見にありますように、自治会回覧も町民の皆様への周知に有効であると考えられますので、定期的な自治会回覧に間に合うものなどは、今後検討させていただきます。 なお、CATVやホームページは多くの町民の皆様にも即時に情報提供できることから、他自治体と同様にパブリックコメントでも、今後も活用していきたいと考えています。 パブリックコメントの結果は、町の将来に係る重要な計画であることからホームページへの掲載と5月の広報配布に併せて自治会回覧をいたします。	計画に修正なし

全 般	2. パブリックコメントの取り扱い（公開）について ホームページ内の下記枠内記載について、「個別の回答はしないが寄せられた意見の趣旨とこれに対する奥出雲町の考え方を公表する」とはどのような意味なのか。		
	5.意見の反映・個人情報の取り扱い お寄せいただいたご意見は、最終的な決定における参考とさせていただきます。ご意見に対する個別の回答はいたしかねますが、後日、寄せられた意見の趣旨とこれに対する奥出雲町の考え方を公表します。 ただし、公表することにより、個人又は団体の権利その他正当な利益を害するおそれのある意見は、公表しません。 意見の募集は、具体的な意見をいただくことを目的としていますので、賛否の結論だけを示したものや趣旨が不明確なものなどについては、奥出雲町の考え方をお示しできない場合があります。		
	町民が貴重な時間を割いて提出した意見であれば、もっと親切に大切に扱うべきであり、個人情報等を留意してどのような意見があったのかを一覧表等で全て公表すべき。この一覧表の一部に「賛否の結論のみの意見」、「趣旨が不明確」、「公共の福祉に反する」等の記載を含む、対応の有無や、どのような部分を参考としたかどうかを表記すべき。 この一覧表による公表は多くの自治体のパブリックコメントで行っている対応であり、住民を巻き込んだ議論を喚起するうえで非常に有効な手段であり、もし、これをやらなければ意見を集約する立場にあるものが情報の取捨選択をしていると疑われても仕方ないと考える。 今回のパブリックコメントにおいて、町民の意見を参考にする姿勢が町にはあるのか疑問が残る。	記載の内容につきましては、解りにくい点もあろうかと思いますが、賛否の結論だけを示したものや趣旨が不明確なもの、また、公表することにより、個人又は団体の権利その他正当な利益を害するおそれのある意見等につきましては、回答できないものや、公表しないことを趣旨としたものでございます。 ご指摘にありますように、町民の皆様は、貴重な時間を割いて提出いただきました意見でございますので、原則として、可能な限りご意見いただいた事項は、全て町ホームページで一覧表にて公表します。また、対応の有無等についても表記します。	ご意見に対応した書式で公表します。

全 般	3. 令和5年度予算における計画の位置づけについて 総合計画（案）の中に記載してある新規追加項目は既に令和5年度奥出雲町一般会計予算に新規事業として反映されている。本来であれば、この策定した総合計画（案）をパブリックコメントによる町民のブラッシュアップを行い、そして町議会において承認された後に新年度予算に反映させるのが順序ではないのか？ 今回のパブリックコメントにおいて、町民の意見を参考にする姿勢が町にはあるのか疑問が残る。	今回の総合計画の見直しにつきましては、令和3年3月に策定しました計画を、町長が進める4つの政策と整合が取れるように整理し、見直しを行うものです。 現計画につきまして、新規追加項目となる国が進めるデジタル田園都市構想等の考え方につきましては、この度の見直しに合わせ追加するものであります。 令和5年度の予算につきましては、個別の新規事業について本会議や予算委員会等で審議をいただき承認をいただいております。	計画に修正なし
--------	--	---	---------

全 般 事 例 と し て 45 ペ ー ジ	4. 町民に分かりやすい目標 奥出雲町の最優先の政策課題は人口減少対策であり、それ以外は優先度が大きく落ちると考える。 その対策の指標となる人口動態は、第 1 期人口ビジョンで「2040 年の人口を約 10,000 人程度確保する」と設定してあったのを、第 2 期人口ビジョンでは「2040 年の人口を約 9,000 人」と目標値が 1,000 人下方修正してある。 その目標値の 1,000 人の下方修正の原因を整理分析して現在の総合計画が策定されていると考えるが、今回の総合計画の改定に当たって、この目標値を堅持するために、どのような工夫がなされているのか、どの部分に重点を置いているのかが分かりにくい。つまり、前例踏襲の既存事業を継続しつつ、あれもやる、これもやる、との総花的な計画に見える。 具体的に旧計画のこの事業をスクラップし、新計画においてはこの事業をビルドしたと、それぞれの要点をまとめた説明があれば分かりやすい。 また、KGI の設定値が下方修正されているところが見受けられるが、どのような分析において下方修正を行ったのか、それに対する事務事業の見直し、KPI の設定等をどのように考えたのかが分かりにくい。 例えば、「①子育てが幸せにできるまち」において、第二期人口ビジョンでの合計特殊出生率は「1.91」であるが、本計画での KGI は「1.80」となっている。いつの間にか目標値が「0.11」下がっているが、この要因は何か？ 今まで「1.91」を目標にして予算をつぎ込み各種事業に取り組んできた訳だが、その費用対効果は目標値が下方修正されたことにより、旧計画での事業効果はなかったと判断してよろしいか。 出生数は、現在の人口数及び構成に将来増加予定の出生数を掛け合わせて目標値を算出していると考えられるが、これは母数となる人口減少分を加味した目標値となっているのか。つまり出生率が上がっても出産	計画は、国が進めるデジタル田園都市構想、奥出雲町総合計画審議会、奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価委員会等の意見を踏まえて策定しています。 なお、総合計画・総合戦略は、町の将来像を示した総合的な施策を記載することとしており、ご指摘にあるように総花的な計画に見える部分もあろうかと思います。人口減少対策は、個別対策だけでなく、総合的に対策していくことも重要です。 個別の施策や事業については、評価委員会等において、効果検証を行い、スクラップ&ビルドを実施してまいります。 「子育てが幸せにできるまち」の K G I 出生率「1. 8 0」は、記載誤りでした。ご指摘を踏まえて修正します。 国や県、多くの自治体と同様に、人口減少の歯止めがかからないのが現状です。奥出雲町につきましても現状では目標値の達成は非常に困難な状況にあるのはご指摘の通りですが、目標値に少しでも近づけるよう努力してまいります。 町の事業は将来の目標に向かって、極端な人口減少を食い止める施策を講じていく必要がありますが、今現在、生活をしておられる町民の皆様の暮らしの充実や維持、医療、介護、教育、文化、小さな拠点によるまちづくりなど、町政としては継続が必要な事業も	計画に修正なし 45 ページ まちづくりの目標 KGI 出生率の 2025 年度を「1.80」に、2030 年 度 を「1.91」に修正 計画に修正なし
---	--	---	---

	予定の女性の人数が減り続ければ出生数は増えるのかが疑問。また、小学校入学時の児童数増加については、小学校再編計画の基礎となる児童数が減少する傾向と大きく乖離しているが、どのような施策を実施することにより分析により目標設定をしているのか。等々、分かりにくい部分が多い。 今回のパブリックコメントを活用して、奥出雲町の将来像を分かりやすく説明する姿勢が町にはあるのか疑問が残る。	あり、出生率のみですべての事業効果がなかったと判断していただくことは拙速ではないかと考えております。 出生数は、第2期人口ビジョンや母数となる女性の人口減少だけでなく、U I ターン者数、安心して結婚や出産ができる定住支援策から若い世代が定着すること等を加味して設定しております。 小学校入学時の児童数増加については、近年のU I ターンによる小学校入学時の児童増加数、仕事と子育ての両立支援による定住促進策による若い世代の定着等を加味して設定しております。	計画に修正なし
--	---	--	----------------

全 般 事 例 と し て 46 ペ ー ジ	5. まとめ 非常に美しく仕上がっている計画紙面だと思うが、理解するには難しい内容だと感じた。 いったい、何人の町民の方がこの計画（案）を 町の最優先課題は人口減少対策 計画の大事な部分である「10 年後に目指す姿」と整合の取れた主要施策の KGI（重要目標達成指数）の設定が最も重要であり、そしてその次にこの KGI を達成するための各事業の KPI（重要業績評価指標）の設定をすることになるが、KGI と KPI の整合が取れているのかが疑問。 つまり、各事業が KPI を達成してもそれが KGI の達成に結びつくのかの仮説が不明瞭。 これは、10 年後に目指す姿から KGI を設定し、その KGI を達成するために各事業を設定しその事業の進捗管理、成果管理として KPI を設定するという流れが通常だと考えるが、どうも今実施している事業をこじ付けで KPI を設定しているのではないかと感じられる。 例えば「①子育てが幸せにできるまち」にぶら下がっている施策「(3) 幸せな未来をつくる出会いづくり」の「出会いの場の件数」は、出会いの場が増える⇒婚姻数が増える⇒出生数が増える、という仮説を想定していると考えるが、KGI が出生数であれば、それを達成するための直前の指標としては「出会いの場事業」の目標は「婚姻数」とすべきだと思う。どのような出会いの場を考えているかは分からないが、婚姻数が増えるような事業であればどんどん予算をつぎ込んで事業拡大をすべきだと思うが、効果が希薄な事業内容であれば、出会いの場の件数を増やしても費用対効果が低いと考えられる。 行政の取り組む事業は、教育、福祉や道路等の公共施設に関する業務等々、法律の裏付けがあり、ある程度は採算性を度外視してもやる業務と、それ以外の業務がある。この「出会いの場」等の事業は義務的な業務ではなく、定期的にスクラップ＆ビルドの対象として、費用対効果の観点において定期的に評価を行って欲しい。	K P I は、K G I を如何に効果的に達成できるかという視点で設定しています。 また、計画には、これまで実施してきた事業についても目標達成への効果等を鑑み、引き続き取り組むものがあります。 この度の改定では K P I につきましては、かなり見直しや追加も行っておりますが、ご指摘のようにわかりにくい部分がありますので、その点のご意見も参考に再度検討いたします。ただし、今行っている事業をこじ付けで K P I を設定しているといったことはございませんのでご理解をお願いいたします。 K P I 「出会いの場の件数」は、出会いの場が増える→婚姻数が増える→出生数が増えるという観点から設定しておりますが、これを追跡調査することは、難しいことが実態です。ご指摘を踏まえて削除します。 ただし、出会いの場を増やすことは必要な取り組みであると考えております。 効果的な出会いの場ができないか今後検討させていただきます。	計画に修正なし 46 ページ K P I 「出会いの場の件数」は、削除します。
---	---	---	--

その為に「出会いの場」を何件設けたのではなく、どれくらい婚姻に結びついたか KPI とすべきであり、個人情報や追跡調査ができないとの理由で KPI の設定ができないのであれば、事業としては行っても KGI 達成の合理的な根拠が示せないものは計画紙面には記載しなくても良いのではないかと思います。 同様の観点から他の KPI を観ると、目的と手段を取り違えていると考えられる場合が多いと感じる。 言い換えれば、奥出雲町の人口減少対策のために新しい施策・事業を練り上げたものではなく、既存事業を計画の建付けの中に付け替えただけの感じがする。 また、新計画であれば、旧計画で効果がなかった事業を大胆にスクラップし、予算やマンパワーを新規取組に注力するくらいの英断があっても良いのではないかと思います。 このままでは、計画の中間評価において目標を達成出来そうになかったと予測される場合、人口ビジョンにおける 2040 年の人口が約 10,000 から約 9,000 人とあっさりと 1,000 人も目標値を下げた場合のように、また目標値を下方修正すれば良いと安易に考えているのではないかと感じる。 自ら策定した計画には責任を持って欲しいので、事業に関する評価を厳正に厳密に行うことができる KPI として設定して欲しい。 2 月 26 日に開催された町政意見交換会（三成地区）で「KPI は施策目的の達成具合を測るものなので、手段と目的をはき違えている KPI の設定を是正して欲しい」との意見を言ったが、是正がされないまま目的を達成するための手段自体が KPI となっている項目が多いのは残念に思う。 今回のパブリックコメントは、消極的な周知、募集意見の反映姿勢、行政用語が多く分かりにくい膨大な文字量の内容等々を考えると、「と	今回の計画は、国の重点施策である脱炭素やSDGs、デジタル社会に向けた自治体DXの推進など施策を追加・強化し、町長が取り組む政策との整合性を図り町民の皆様に町政運営を分かりやすくご理解いただくために改定を行うものです。 各事業のスクラップや予算配分等は、委員会や議会で計画の評価・検証や審議を行い、都度判断してまいります。 ご指摘を踏まえ、計画の推進に注力してまいります。 人口ビジョンにおける2040年の人口を1,000人下げたことは、直近の国勢調査等のデータを基に修正したものであり、安易に下げたものではありません。 施策・事業の評価・検証は、継続的に取り組む必要があると考えます。計画を進めながら、評価・検証手法も含めて効果的な取り組みを検討します。 この度は貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。周知としては、今回は9地区にて町政意見交換会や有線放送、CATVによる文字放送も行い、これまで以上に周知を行ったつもりですが、まだまだ不足かもしれません。	K P I につきましては再度確認や検討を行ってまいります。
---	--	---------------------------------------

	にかく計画策定のルールとしてのパブリックコメントをやりましたよ」 とのアリバイづくり的な姿勢が感じられる。	また、どうしても膨大な文字量となってしまうことも実態であり、情報提供・説明との調整を図りながら今後のパブリックコメントの在り方も考えてまいります。 この度いただきましたご意見につきましては、町政への疑問や不信など、厳しい意見をいただきましたので、このご意見を真摯に受け止め、町民の皆様と一緒により良いまちづくりを着実に進めます。 なお、K P I は、より実行性が高くなるように見直しを行い、町政意見交換会を踏まえて、目的を達成するためのK P I となるよう見直しを行いました。	7 2 ページ K P I 「町内各種団体によるごみ処理施設の見学、出前講座の開催数／年」と「C O O L C H O I C E の普及啓発活動回数／年」は、削除します。
--	--	---	---